

農業委員会だより

なんたん

No. **56**

令和 7 年 2 月号

スプリングスひよしの彩花菜園

農地の賃借について.....	2~3
農業委員会のうごき.....	4~5
まちかど通信.....	6
地域農業を支える.....	7
なんたんあっちこっち 他	8

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail co-nougyo@city.nantan.lg.jp

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/index.html>





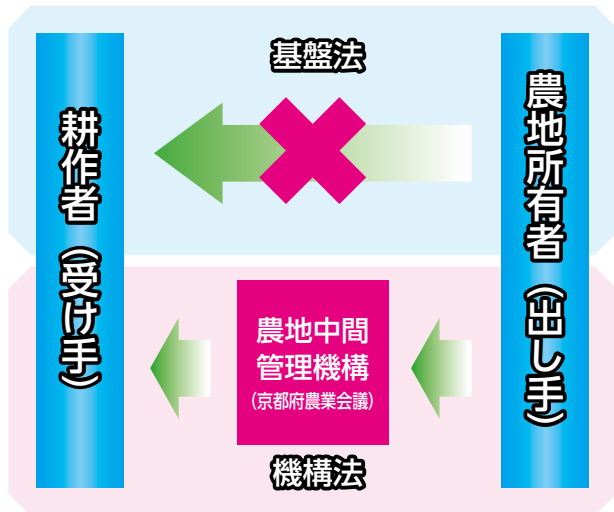
令和7年4月から

農地の貸し借りの手続が変わります

**相対の農地貸借手続が
廃止されます**

令和5年4月の農業経営基盤強化促進法等の一部改正に伴い、令和7年4月から「地域計画」に基づいて農地の貸借をすることになりました。

これまで農地の貸し借りをする際は、所有者と借人が直接農地の貸し借りをを行う手続（基盤法）と、農地中間管理機構（京都府農業会議）を通して、賃借をする手続（機構法）がありましたが、農地中間管理機構を活用した貸借に一本化されます。



**農地中間管理事業って
なに？**

農地中間管理事業とは、地域で話し合った農地の活用や将来の方針をもとに農地中間管理機構（京都府農業会議）が出し手農家から農地を借り受け、農業経営の効率化や規模拡大を進める担い手農家などに農地を貸し付ける制度です。手続のながれは次ページのとおりで手続の窓口は市農業推進課となります。

事業を利用できる条件は？

事業を利用できる農地については主に次の条件を満たす必要があります。

- ① 市街化区域内の農地を除く農地であること
- ② 地域計画書に掲載の農地であること
- ③ 耕作できる状態の農地であること
- ④ 担い手（耕作者）の営農効率があがると認められること

条件を満たさない市街化区域内の農地などについては、これまでと同様に農地法第3条の許可を受けることで貸借を行うことが可能です。



令和7年3月までに農業委員会ですられた手続については、期間が満了するまでは、これまでどおり貸し借りを続けることが可能です。

令和7年4月以降に期間が満了し、引き続き貸し借りをされる場合は、農地中間管理事業による手続が必要となりますので市農業推進課又は農業委員にご相談ください。

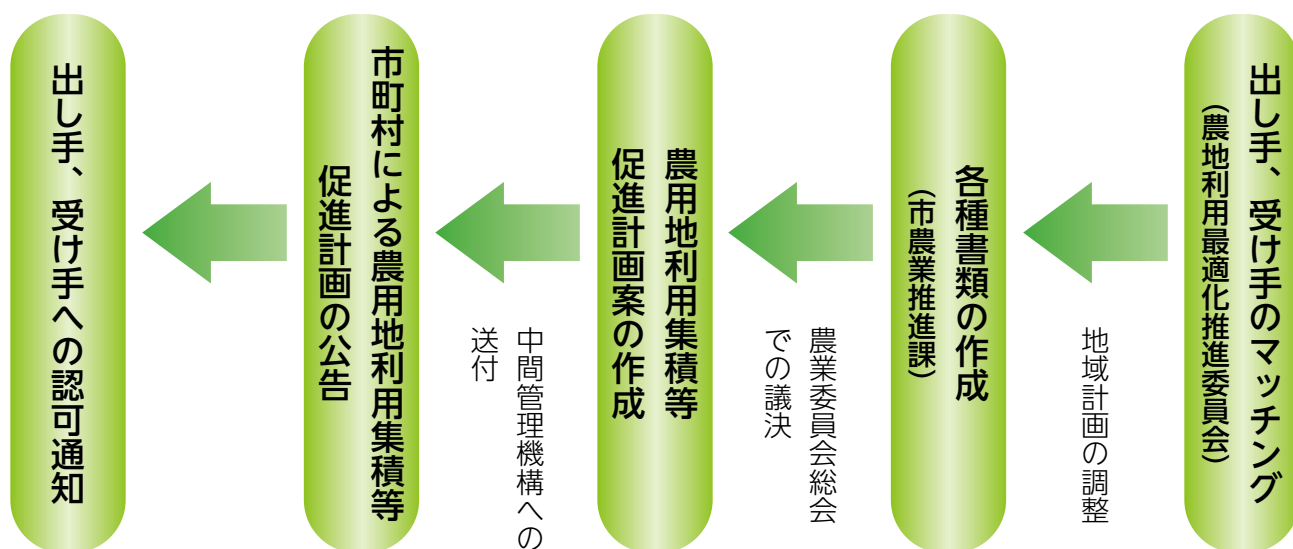
**いま貸借している農地は
どうなるの？**

うことが可能です。

また、契約期間は耕作者の安定した農業経営を確保するため、原則10年の期間設定をお願いしています。

ただし、貸し手、借り手双方の合意があれば、契約期間途中の解約も可能です。

農地の貸借手続のながれ (令和7年4月1日～)



農地中間管理事業を利用するメリット

■出し手 (所有者)

- ・条件を満たすと貸し付けた農地について税制優遇が受けられます。
- ・契約期間が満了すると農地が返ってきます。
- ・耕作者が変わっても変更の手続きは必要ありません。
- ・複数の耕作者に貸す場合も農地中間管理機構だけの契約になります。

■受け手 (耕作者)

- ・まとまった農地を借りることができます。
- ・複数の所有者から農地を借りる場合、手続を一本にまとめることができます。

■地域

- ・条件を満たすと市から地域集積協力金が交付されます。



問い合わせ

■農地中間管理事業に関すること 南丹市農業推進課 (☎0771-68-0060)

■農地法による貸借に関すること 南丹市農業委員会 (☎0771-68-0067)

農地を貸したい、借りたいときは地域の農業委員、農地利用最適化推進委員にご相談ください。



全国農業新聞を購読しませんか。

農業経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。

農業者の視点で、さまざまな情報をお届けします。

発行日/金曜日発行 (月4回) 発行所/全国農業会議所

購読料/月額700円 (税込)

購読の申込は農業委員会事務局まで 電話 0771-68-0067

農業委員会のうごき

管外視察研修

や ず ち ょう ひ だ ほくえい ち ょう
鳥取県八頭町日田地区と北栄町農業委員会を訪問



▲ワナの設置方法を確認!!

11月14日、15日の2日間に管外視察研修を行いました。八頭町は鳥取県東部に位置し、その中で日田地区では害獣対策に20年間集落を挙げての取り組みが行われています。この地区の遠見山（805・9m）は、4種類のコウモリが生息する自然豊かな地域です。こうした中、平成16年ごろから獣害が増えて、農事実行組合が電気柵を設置しましたが管理が大変でした。平成19年から多面的機能支払交付金を活用して自治会と農

八頭町日田地区の取り組み

事組合が一体的に獣害対策を始めました。

対策は、2メートルの柵設置とワナの設置で、個体数の減少を図っています。地域全体で取り組み、隣接集落の協力も得て農地を守っております。

地域総出の作業は完全を求めず、できるときにできることをやってもらうこととし、各種補助金などを活用して個人負担なしで実現されています。リーダーシップと地域の団結力に感銘を受けました。

北栄町農業委員会の取り組み

北栄町は「名探偵コナン」に会える町で有名で、県内多数の農業地帯です。スイカや花卉のストック、長芋、らっきょう等の栽培が盛んです。農業委員会だより「菜種」は第30回全国コンクールで、最優秀賞を受けられました。その秘訣についてお聞きしました。

北栄町農業委員会では歴代女性が広報委員長を務めてお



▲「菜種」の魅力をリサーチ!!

り、携わった前任の委員長からお話をお聞きしました。「菜種」は、全戸配布されており、委員が取材から編集まで全工程を担当しています。配布された冊子を開けていただけるよう、惹きつける紙面を実現するため、3年ごとの改選で新任委員は、地元新聞社の写真と文章のレクチャーを受けています。文章は、中学生でもわかることを目指しておられます。また、限られた紙面を補うためQRコードを活用して地図やYouTubeに飛ぶなどの工夫をし、取材では写真に笑顔を大切にされています。とても紙面に愛情が感じられ、大いに参考になりました。

（取材…小早川健一 委員

平野清久 委員）

豊かな老後生活のために!!

加入しませんか?

の う ね ん
農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円～6万7千円まで千円単位で選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金

詳しくは農業委員会事務局まで（連絡先：0771-68-0067）

委員と小学生の農業体験



▲大きなサツマイモに大満足!!

令和6年度も美山小学校の2年生とサツマイモ植えと収穫を中心に交流をしました。6月11日、委員が整えた約50アールの畑に、小学生児童が先生に連れられてやってきました。サツマイモ苗の植え方を丁寧に教わり、約100本の苗を無事植え切りしました。

秋の気が漂う10月25日、いよいよ収穫の日が来ました。成長した葉っぱの数が少なく心配していましたが、児童が掘り始めると、「わっ、あつたよ!」「すごい大きい!」など、生き生きとした声が畑中に響きました。

委員が思っていた以上に大

きな芋もあり、児童一人一人においしそうな芋のお土産を持って帰ってもらうことができました。

苗植えと収穫、合わせてわずか4時間足らずの交流でしたが、児童のこぼれんばかりの笑顔とお礼の言葉に、委員も元気をもらえた時間となりました。

また、来年も交流ができることを願うとともに、児童が大人になっても秋の味覚が堪能できる日本の農業・自然を保っていかなければならないと思いました。

(取材：平井隆 委員)



地域計画は里を守り自然を育む!



園部町瓜生野に飛来したコウノトリ

南丹市各地域で取組を続けてこられました地域計画策定作業が昨年12月で完了しました。前号(55号)でお知らせしましたとおり、みなさんの地域の農地の現状を踏まえて、次世代に地域の農業をつなぐための話し合い(目標地図や計画書の作成)が続けられてきました。

「地域計画策定の意義・メリット?」は、将来の農地利用の姿について地域で話し合うことで、地域に関わるみんなが農地を守る姿勢を共有できることにあります。加えて農地の集積・集約希望のある農業関係者や新規参入を考え

ている担い手が農地を引き受けやすくなることです。そして、農地中管理機構を通した農地の賃借・売買がやりやすくなるなど「地域で農業に頑張っている人、これから頑張りたい人」を応援できることにあります。

さらに、これからは遊休農地や耕作放棄地の増加が想定されます。将来にわたる地域計画を策定することは、農地を守る里の住人や新しく巻き込んだ移住者などの若い人が、農業を続け農地を守ることで農業が続けられている条件や環境で生息できる生き物(ここではコウノトリ!)を守り育てていくことにもなるのではないのでしょうか。

(取材：中井順市 委員)



地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！

まちかど通信

特定非営利活動法人つむぎ (日吉町)



▼自分の手でお米を育てることができると実感



つむぎ
ホームページ
QRコード



「農×移住フィールド連続講座 田んぼの1年生」
NPO法人つむぎは、移住の相談や農業の担い手育成に力を入れておられます。
昨年、日吉町中世木では場の提供を受け、中山間組合の協力を得て希望者に農作業体験を行ったところ、参加者より米作りを学びたいとの声があがり、今年「田んぼの1年生」と題して、日吉町中世木（減農薬栽培）と園部町半田（無農薬）で実施されました。

日吉町中世木で17名、園部町半田で15名が参加、地域住民とも交流され、「小さな農」ができる里山の暮らしの魅力を知ります。
参加者からは「農への関心も深まり更に学びたい」との感想もあるとのことでした。
昨年度の受講生からは、農業をしたいと南丹市に3組、市外に2組が移住されました。農業の担い手が不足する中で、「つむぎ」の活動が、「出会いをつむぐ」よい機会になることを願います。
(取材…久世善春 委員
田鶴昌子 委員
湯浅照夫 委員)

生活文化探究処

ヒトワザ 一十業

(美山町今宮)

2年前に、奈良県十津川村から美山町今宮地区に移住した黒岩大朗さん。四季を通じて暮らした文化が色濃く残る十津川村での6次産業の経験を活かし、一十業（ヒトワザ）の屋号で活動されています。美山町では、農業をはじめ、米粉や天然酵母パンなどの加工品の製造のほか、蕎麦の栽培と委託で製造した十割蕎麦の販売も行っています。



▲自家製パンを陳列する黒岩さん



販売店舗：ふらっと美山、大野屋
タナセン、木かげ

黒岩さんの理想は、「季節ごとの収穫物を加工してそのまま消費する暮らしを基本とし、少し多めに作った加工品を販売して生活の糧を得ること」だそうです。農業や加工品の製造販売のノウハウだけではなく、IT業界や建築業界で働いた経験を活かし、黒岩さんはパッケージデザインや大工仕事もこなします。
11月に開催された今宮地区の収穫祭では農産品や加工品が並び、次世代の農業の担い手として集落のみなさんから期待されている黒岩さんの姿が印象的でした。
(取材…神澤典子 委員)

一から十までを人（ヒ）十（ト）業（ワザ）で



地域農業の発展を目指し、力強く活動する
団体・個人を紹介します。

農業組合法人

いけがみ (八木町池上)

農業組合法人いけがみは、八木町の北部に位置します。雪印メグミルク池上製造所が所在する付近と言ったほうがわかり易いかもしれません。

この法人は、平成26年12月1日に発足しました。役員構成は理事5人、監事2人、出資者38名で始まりました。役員相互で選出された代表理事のもとに運営されています。

年1回の総会では、生産スケジュールおよび会計決算の報告を行い、コンセプトである地域内の農地に、耕作放棄地を発生させない



▲組合員みんなで育苗する様子



ブームスプレーヤーで除草剤を散布

ために、自分たちで維持管理ができるよう法人と組合員とが意思疎通を図り活動しています。

また、行政や農協とも連携を密にして、営農などの指導がなされています。実



際の作業については、役員のほかに平日対応者3名、そして一斉草刈りおよび繁忙期には全組合員に作業対応を呼び掛けています。耕作面積は約20haで、稲作を主力として小麦、小豆を隔年周期で栽培しています。所有機械は現在トラクター4台、田植機1台、コンバイン2台、乾燥機3台、軽トラ1台、代掻きハローなどで効率のよい運用を心掛けています。

農業は多かれ少なかれ天候の影響を受けます。天候・気候により収穫量が増減するのはやむを得ません。肥料や燃料を中心とし



て農業資材の高騰は組合運営を圧迫することになっています。今季は付加価値の高い小豆の収穫量は少なめで、組合長の表情は心なしか曇りがちでした。

現在の農地は、この法人と地域内の比較的規模の大きい農家さんにほぼ集約されており、将来にわたり優良農地が継承されていくようにこれからも出来る限りのことはしていくという強い意志が感じられました。

(取材：池上尚隆 委員)

なんたん

あっちこっち

とにかく広い南丹市。

南丹市のあちこちで、地域ならではの魅力的な取り組みがされています。

そんな南丹市の、あっちこっちのできごとを紹介します。

園部町摩気地区で
文化祭と野菜市を開催

▲新鮮な野菜に人がいっぱい!!

11月24日、園部町旧摩気小学校において、NPO法人摩気振興会主催による第9回「文化祭・野菜市」が開催されました。

丹精込めた地元産のお米、小豆、野菜、パン、蜂蜜などの販売がありました。

また、農家を悩ませているサル、イノシシ、シカ、アライグマなどの被害を防ぐため、市の担当者や講師に招き「鳥獣害防止講演会」が実施されました。

そのほか、文化祭として体育館でのステージ発表



▲みんなが楽しみにしていたステージ発表

表、地域住民による書道、写真、手芸、小学生の夏休み自由研究、中学生の作品展、生活雑貨のバザーなどがありました。

子どもたちがのびのびと遊ぶわくわく広場が園部中学校の生徒さんも加わり賑やかに繰り広げられ、約600人に参加していただきました。

今後も「文化祭・野菜市」が、地域の活性化のために継続できることを願っています。

(取材：面村邦夫 委員)

委員ぶらり旅

旅人：小早川健一 委員

新幹線で躍動する

薬の町、富山

11月9日、1人旅で富山を訪問しました。京都駅からサンダーバードに乗車。終点の敦賀駅舎は巨大な骨組みで、鉄骨の大きさに驚きます。新幹線に乗り換え富山まで田園風景を楽しみました。富山駅は新しく整備され、隣接に路面電車の駅もありました。

富山市は、少子高齢化が進む中で都市をコンパクトにまとめる取組がなされています。分散していた施設をまとめて、駅裏だった北口が近代的都市となっています。

駅から徒歩10分、広大な富岩運河環水公園があり、夕方になるとイルミネーションが美しく、水面に反射して幻想的な雰囲気が魅力です。

また、富山市は薬の町と呼ばれ、駅南口前行商人の銅像があり、歴史を感じさせてくれました。



▶富岩運河環水公園

帰りは、直接新幹線に乗らず福井まで第3セクター鉄道に乗り、JRでなくなった寂しさを感じながら帰路につきました。

編集後記

スプリングスひよしの彩花菜園には、白菜やネギ、ニンジンなど旬の新鮮野菜が早朝、約40軒の農家から持ち込まれ、次々と商品棚に陳列されます。土日はバス旅行者のお客や来店者も多く活況です。作る人と食する人の出会いの場である彩花菜園は生き生きとしています。(久世善春 委員)

地域の食と農業の情報紙『なんたん』

自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

野口 八木 平井 神澤 田鶴 久世 池上 鶴山 國府 小早 川勝 奥村 西村 中井 中井 平井 湯野 浅野 沼田 芳明 健一 博美 昌隆 尚仁 昌隆 則彰

◆広報委員会



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用